

特殊詐欺被害ワースト1は架空料金請求詐欺!

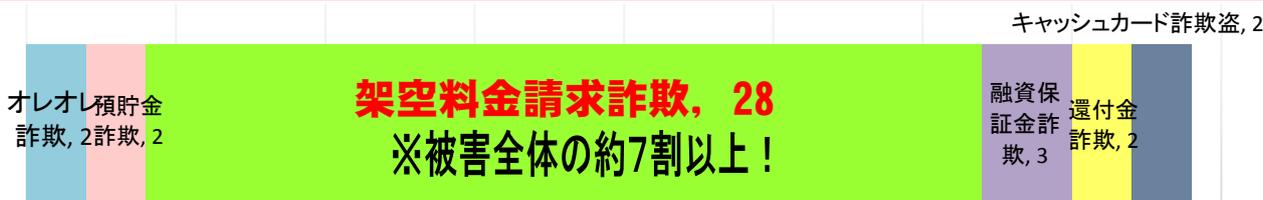
◎令和2年4月末現在の特殊詐欺被害発生状況

被害件数 **39件** 被害金額 **約1億3,780万円**



被害件数は、昨年同期と比べ**2件減少**、被害金額は、**約3,720万円増加**しています。
今年に入って既に**1億円を超える被害**が発生しています。

◎特殊詐欺被害の内訳

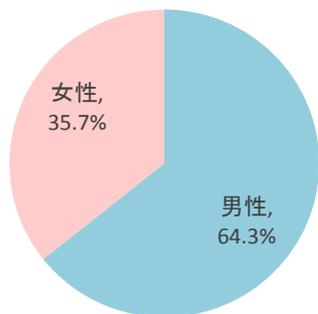


架空料金請求詐欺は、全体の約7割以上を占めており、被害額は全体の9割に当たる**約1億2,620万円**にも上ります。

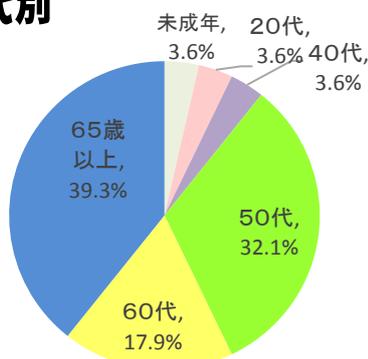


◎架空料金請求詐欺被害者の性別・年代別

性別



年代別



架空料金請求詐欺の特徴は、男女・年齢の割合の差はあるものの、**老若男女全ての年代で被害が発生**していることです。

つまり...

誰もが被害に遭う可能性があるということ!



人ごとと思わず、「手口を知る」ことが大切です。

架空料金請求詐欺の手口別発生状況は裏面へ

Check

◎架空料金請求詐欺の手口

本年4月末現在、架空料金請求詐欺の手口で、最も多く発生しているのは、

高額当選金名目が13件

で、次いで、

有料サイト料金未納名目が10件

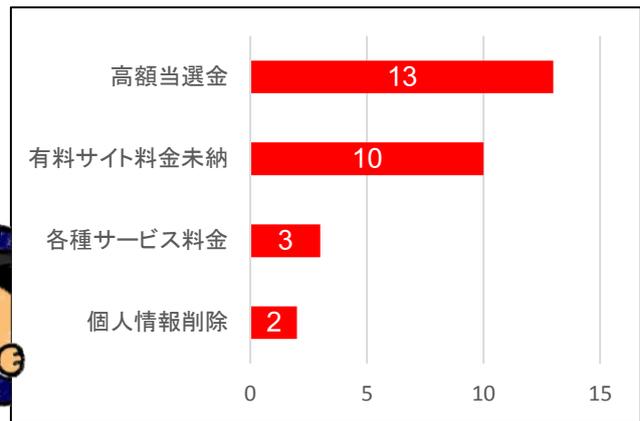
となっています。

本年の特徴として、本年は、

高額当選金名目が去年同期比で

11件も増加

していることが挙げられます。



☆高額当選金名目の手口

メールやSNS等で、犯人から、

「高額当選した」「遺産を相続して欲しい」等

とメッセージが届き、犯人と連絡を取るうちに、

「お金の受け取りのためにはサイトへの登録や振込口座の登録が必要」

「登録手数料がかかる」等

と言われてお金を要求され、だまし取られる手口です。

☆有料サイト料金名目の手口

メールやハガキ等で、

「有料サイトの未納料金がある」「連絡がない場合は裁判へ移行する」等

という内容の連絡が来て、記載された電話番号に連絡すると、犯人から「このままでは裁判になる」等と不安を煽られ、お金をだまし取られる手口です。

「確認ができれば、返金できるのでとりあえず払って」と急かされることもあります。



赤太字の言葉は、
架空料金請求詐欺の
キーワード！！



◎架空料金請求詐欺の現金交付方法

- 1 電子マネーカードの購入を指示され、カード番号を教える 15件**
(カード番号の写真を送る・インターネットのページ内に入力する)
- 2 コンビニのマルチメディア端末利用 8件**
- 3 犯人の指定する口座に現金を振り込む 4件**
- 4 直接手渡し 1件**

半分以上がこの方法!



◎被害に遭わないために気をつけること

架空料金請求詐欺のキーワード⇒この言葉が出たら詐欺です!

「高額当選」「遺産受け取り」「登録手数料が必要」

「サイト料金未納」「裁判へ移行する」「電子マネーで支払える」

絶対に犯人へ連絡してはいけません。

一人で判断せず、必ず家族や警察に相談してください。

